



交通安全有功者等表彰

令和7年11月4日発行 第8号

皆野町立皆野中学校 TEL 62-0432 FAX 62-0076



【校訓】剛き意志 深き愛 自由の胸 純なるこころ

【学校教育目標】人間力で自立する生徒の育成

【目指す学校像】心理的安全性で Well-being を実現する学校

生徒数 1年61名 2年76名 3年74名 合計211名

全力校歌

校長 板倉邦弘

9月24日(水)埼玉会館にて交通安全有功者等表彰式が行われ、本校は交通安全優良学校(県内12校、中学校は5校)として埼玉県警本部長様・埼玉県交通安全協会会長様から感謝状を授与されました。これは、広範囲から生徒が通学しているにも関わらず、大きな事故が発生していないことから選ばれたのだと受け止めています。実際には生徒の自転車の乗り方や通学の様子等で地域の方々から様々な(お叱りの)お声をいただいていることもあり、むしろ生徒の安全のために安全運転を励行されている地域のドライバーの皆様、登下校の見守り活動でご協力いただいている多くの方々のお陰に他なりません。今後は交通安全優良学校としてふさわしい登下校ができるよう指導に努め、生徒にも自覚を促していきたいと考えています。今後も生徒の交通安全のために、ご配慮・ご協力の程よろしくお願いいたします。

さて、この原稿を書いている時点では10月31日(金)の第56回皆野中学校文化祭が終わっておりませんので、文化祭について触れるのは別の機会とし、今号では「歌」、特に「校歌」の持つ力について述べたいと思います。新入生が学校に入学した時に、まず取り組むことが生徒に学校・学級への「帰属意識」を持たせることです。「私もこの学校・学級の一員なのだ」「私の居場所があるのだ」と安心させるところから集団づくりが始まります。海外の学校と比べて日本の学校には、この「帰属意識」を持たせやすいシステムがあります。それは「制服」と「校歌」です。同じ制服を着ることで「仲間意識」を持つきっかけになります。そして「校歌」を歌うことで、「帰属意識」が高まります。

甲子園の高校野球では、勝利した高校の栄誉を称え、校歌を詠唱し、校旗を掲揚します。何年前か忘れましたが、千葉県代表の木更津総合高校の選手が、体全体を使って校歌を歌い「全力校歌」という言葉が生まれました。2018年夏、快進撃で「金農旋風」を巻き起こした秋田県代表金足農業高校も、ミラクルな試合展開とともに「全力校歌」が話題となりました。勝利の喜びと共に、自分のチーム・学校に対する誇りが伝わる素晴らしいシーンでした。

今回の題名を「全力校歌」としましたが、体を動かして歌うことだけが「全力校歌」ではありません。本校の校歌は金子兜太先生作詞の全国に誇れる校歌です。歌詞に込められた願いや想いを味わいながら、魂を込めて歌うことが「全力校歌」であり、学校への「帰属意識」や誇りを高めることにつながります。「校歌」にはそんな力があります。校歌を歌う時には、ぜひこの話を思い出し、魂を込めた「全力校歌」を歌いましょう。

この話は、文化祭開会行事の校長あいさつの中でも話す予定です。